

2050

美濃加茂市

新庁舎整備 基本計画

かわらばん vol.4

西暦2050年頃の市民生活や行政サービスを予測しつつ、未来のまちづくりにとってふさわしい新庁舎整備を考えていきます。

新しい市役所をつくることは未来のまちをつくること

美濃加茂市未来のまちづくり委員会では、新庁舎整備基本構想に掲げる新しい市役所をいかしたまちづくりの実現にむけた新庁舎整備基本計画を検討しています。

第6回(H31.4.19)、第7回(R1.5.24)の委員会では、主に新庁舎の機能や規模について審議しました。これから配置計画、事業方法などについて考えていきます。



新しい市役所をいかしたまちづくりの理念「現代版太田宿」

…人の流れ・にぎわい・つながり・コミュニティ・歴史・文化・次世代・地域資源…

を実現するために、



新しい市役所づくりの基本理念「みんなのまあるいまちづくりひろば」

…市民が主役、暮らしを豊かに、まちづくりの拠点、魅力的なところ…

を大切にしたい市役所が求められます。そこで、

基本理念を実現するための5つの基本方針

まちが元気になる庁舎

安全で安心な庁舎

すべての人にやさしい庁舎

市民が集う開かれた庁舎

持続可能な庁舎

に基づいて、新庁舎の機能について検討しています。

もっと便利に、快適に、そしてにぎわいを添えて～新庁舎の機能のイメージ～



■ 安心して相談、スムーズに、スピーディーに手続き「すべての人にとって利用しやすい窓口」



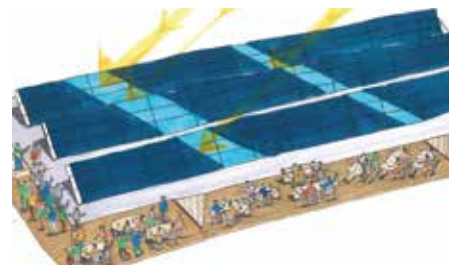
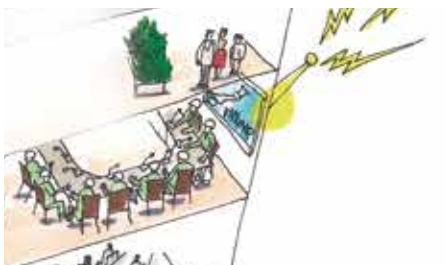
■ オープンフロアでフレキシブルに対応できる「快適で働きやすいオフィス」



■ 多目的トイレや授乳室、わかりやすいサイン「みんなにやさしいユニバーサルデザイン」



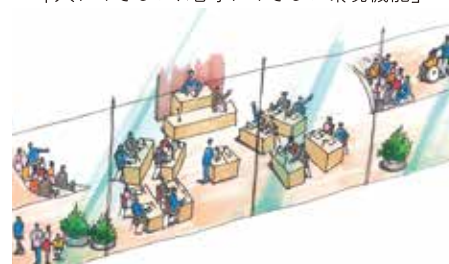
■ 免震構造の導入や災害対策機能の充実「地震など災害に強い防災拠点」



■ 省エネ、自然エネや郷土材の利用「人にやさしい、地球にやさしい環境機能」



■ 庁舎のナカやソトでにぎわいや市民の交流が生まれる「市民とつながる・まちとつながる」



■ 見やすい、聴きやすい、市民にわかりやすい「市民に開かれた議会運営機能」

最新情報はこちら

<http://www.city.minokamo.gifu.jp/2050>

